



光と空気と水を生かす  
Always With You

## 第86期 中間事業報告書

平成26年4月1日～平成26年9月30日

 **ダイダン**株式会社

# 株主の皆さまへ



代表取締役会長  
兼最高経営責任者 (CEO)

菅谷 節



代表取締役社長執行役員  
兼最高執行責任者 (COO)

北野 晶平

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税による反動減の影響も緩やかながら和らぐなど、一部に回復の兆しが伺えたものの、そのテンポは鈍く、本格的な回復には至りませんでした。

建設業界におきましては、既存設備の老朽化に伴う更新の必要性が増していることに加え、企業収益が改善傾向にあることなどから、民間設備投資の回復が期待されましたが、増税後の内需の減少もあり、低調な推移となりました。

このような状況のもと、中期経営計画「新たな時代にチャレンジするダイダニ」に基づき、受注と利益の確保に取り組んでまいりました結果、当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりとなりました。

受注工事高741億20百万円、完成工事高546億39百万円、経常利益17億72百万円、四半期純利益9億30百万円となりました。

中間配当につきましては、既に公表しておりますように、1株当たり8円とさせていただきます。

株主の皆さまには、

日頃より格別のご高配を賜り

ありがたく厚くお礼申しあげます。

さて、第86期第2四半期連結累計期間

(平成26年4月1日～平成26年9月30日)における

事業の概要についてご報告申しあげます。

当社は、かねてより「コンプライアンスの精神に則った企業経営を行う」ことを経営の基本として企業活動を行ってまいりましたが、ここで改めてコンプライアンス体制の抜本的な見直しと更なる強化を図り、全役職員が独占禁止法その他関係法令等を遵守し、高い倫理観を持って企業活動を行うよう、全社一丸となって取り組んでおります。

当社は、創業120周年に向けた新たな10年をスタートしました。

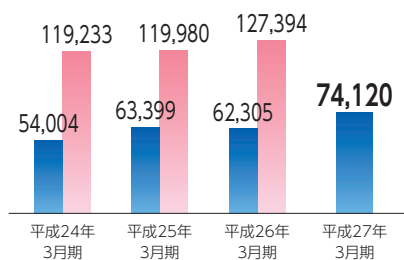
「総合設備工事業者として常に新たな価値の創造に挑戦し、より良い地球環境の実現と社会の発展に貢献する」を経営理念に掲げ、これからも、人々がより安全で快適に暮らせる環境を提供し続けることが、当社の責務であり、皆さまのご期待に応えるために、企業価値を高め、事業を継続していくことが使命であると考えております。

今後とも、株主の皆さまの一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

## 連結財務ハイライト

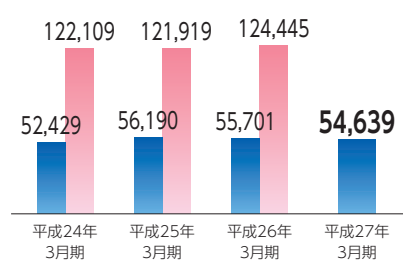
## 受注工事高

■ 上期 ■ 通期 (百万円)



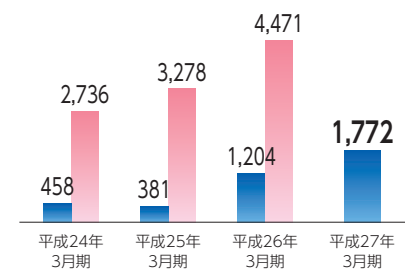
## 完成工事高

■ 上期 ■ 通期 (百万円)



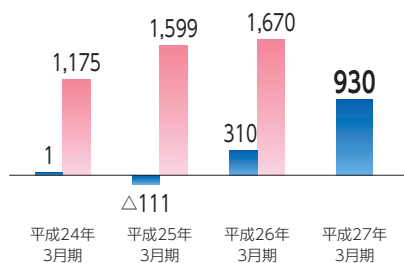
## 経常利益

■ 上期 ■ 通期 (百万円)



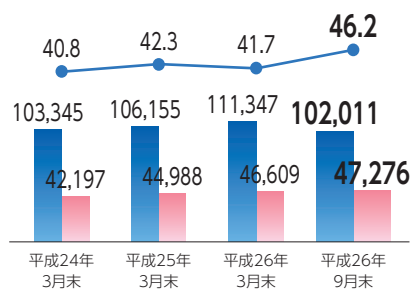
## 四半期(当期)純損益

■ 上期 ■ 通期 (百万円)



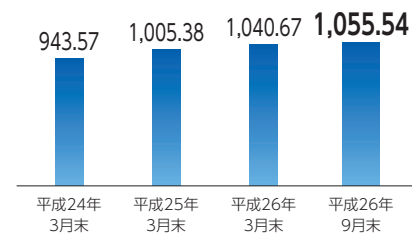
## 総資産・純資産・自己資本比率

■ 総資産 ■ 純資産 (百万円) ● 自己資本比率 (%)



## 1株当たり純資産額

(円)



# 連結財務諸表

## ■ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度末 (平成26年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (平成26年9月30日現在)
<b>【資産の部】</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	24,626	28,318
受取手形・完成工事未収入金	57,189	42,534
未成工事支出金	152	960
材料貯蔵品	0	0
繰延税金資産	1,273	1,163
その他	2,488	2,995
貸倒引当金	△ 6	△ 4
<b>流動資産合計</b>	<b>85,724</b>	<b>75,968</b>
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	3,788	3,780
無形固定資産	260	188
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	13,229	14,268
繰延税金資産	1	1
退職給付に係る資産	6,921	6,310
その他	2,086	1,686
貸倒引当金	△ 665	△ 194
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>21,574</b>	<b>22,072</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>25,623</b>	<b>26,042</b>
<b>資産合計</b>	<b>111,347</b>	<b>102,011</b>

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度末 (平成26年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (平成26年9月30日現在)
<b>【負債の部】</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形・工事未払金	40,007	31,744
短期借入金	5,686	5,789
未払法人税等	1,381	579
未成工事受入金	3,124	2,647
賞与引当金	—	1,413
役員賞与引当金	—	42
完成工事補償引当金	92	100
工事損失引当金	130	175
独占禁止法関連損失引当金	771	884
その他	7,346	4,843
<b>流動負債合計</b>	<b>58,539</b>	<b>48,220</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,903	2,041
繰延税金負債	2,304	2,421
退職給付に係る負債	1,398	1,465
環境対策引当金	220	220
海外投資損失引当金	18	13
長期未払金	352	352
その他	0	0
<b>固定負債合計</b>	<b>6,197</b>	<b>6,514</b>
<b>負債合計</b>	<b>64,737</b>	<b>54,734</b>
<b>【純資産の部】</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	4,479	4,479
資本剰余金	4,809	4,809
利益剰余金	34,597	34,553
自己株式	△ 666	△ 666
<b>株主資本合計</b>	<b>43,221</b>	<b>43,176</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	3,690	4,357
為替換算調整勘定	68	55
退職給付に係る調整累計額	△ 559	△ 507
その他の包括利益累計額合計	3,199	3,906
<b>少数株主持分</b>	<b>189</b>	<b>193</b>
<b>純資産合計</b>	<b>46,609</b>	<b>47,276</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>111,347</b>	<b>102,011</b>

### POINT 四半期連結貸借対照表

流動資産は75,968百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,755百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金の減少(14,655百万円)等が、現金及び預金の増加(3,692百万円)及び未成工事支出金の増加(807百万円)等を上回ったことによるものです。固定資産は26,042百万円となり、前連結会計年度末に比べ419百万円増加いたしました。主な要因は投資有価証券の増加(1,039百万円)等が、退職給付に係る資産の減少(610百万円)等を上回ったことによるものです。

流動負債は48,220百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,319百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形・工事未払金の減少(8,262百万円)、未払

法人税等の減少(802百万円)及び未成工事受入金の減少(476百万円)等によるものです。

固定負債は6,514百万円となり、前連結会計年度末に比べ316百万円増加いたしました。主な要因は、長期借入金の増加(137百万円)、繰延税金負債の増加(116百万円)及び退職給付に係る負債の増加(67百万円)によるものです。

純資産合計は47,276百万円となり、前連結会計年度末に比べ666百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益の計上(930百万円)及びその他有価証券評価差額金の増加(667百万円)等が、退職給付に関する会計基準の適用による期首調整に伴う利益剰余金の減少(618百万円)及び剰余金の配当(356百万円)等を上回ったことによるものです。

## ■ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
	完成工事高	55,701
完成工事原価	49,764	48,020
完成工事総利益	5,937	6,619
販売費及び一般管理費	4,929	5,034
営業利益	1,008	1,585
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	107	118
受取保険料	82	96
為替差益	68	40
その他	25	18
営業外収益合計	293	281
営業外費用		
支払利息	75	82
支払保証料	12	3
その他	9	8
営業外費用合計	97	93
経常利益	1,204	1,772
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
減損損失	—	5
固定資産除却損	0	10
投資有価証券評価損	57	5
ゴルフ会員権評価損	1	0
独占禁止法関連損失 引当金繰入額	—	113
訴訟損失引当金繰入額	345	—
特別損失合計	404	136
税金等調整前四半期純利益	800	1,637
法人税、住民税及び事業税	212	537
法人税等調整額	251	160
法人税等合計	463	697
少数株主損益調整前四半期純利益	336	939
少数株主利益	26	8
四半期純利益	310	930

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
	営業活動による キャッシュ・フロー	372
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 78	△ 190
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 855	△ 115
現金及び現金同等物に 係る換算差額	78	32
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 482	3,692
現金及び現金同等物の 期首残高	22,420	24,598
現金及び現金同等物の 四半期末残高	21,937	28,291

## POINT 四半期連結損益計算書

完成工事高は、受注工事高が堅調であったものの、手持ち工事の進捗に伴わず、前年同四半期連結累計期間比1,062百万円減の54,639百万円となりました。

完成工事総利益は、完成工事高が減少するも、完成工事総利益率の改善により、前年同四半期連結累計期間比681百万円増の6,619百万円となりました。

営業利益は、完成工事総利益の増加を受け、前年同四半期連結累計期間比576百万円増の1,585百万円となりました。

経常利益は、為替差益が前年同四半期連結累計期間比28百万円減の40百万円となりましたが、営業利益の増加を受け、前年同四半期連結累計期間比568百万円増の1,772百万円となりました。

四半期純利益は、平成26年3月4日に北陸新幹線の設備工事の入札に関する独占禁止法違反の容疑により東京地方検察庁から起訴された件につきまして、その後の過程において今後発生しうる損失額を見直した結果、独占禁止法関連損失引当金繰入額113百万円を計上しましたが、経常利益の増加を受け、前年同四半期連結累計期間比620百万円増の930百万円となりました。

## POINT 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は3,965百万円(前年同四半期連結累計期間は372百万円の資金の増加)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上及び売上債権の減少等の資金の増加要因が、未成工事支出金の増加、仕入債務の減少、未成工事受入金の減少及び法人税等の支払額等の資金の減少要因を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は190百万円(前年同四半期連結累計期間は78百万円の資金の減少)となりました。主な要因は、有形固定資産及びその他の固定資産の取得による支出等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は115百万円(前年同四半期連結累計期間は855百万円の資金の減少)となりました。主な要因は、短期、長期借入金の返済による支出及び配当金の支払額等が、短期、長期借入れによる収入を上回ったことによるものです。

# 株式の状況 & 会社の概要

(平成26年9月30日現在)

Stock Information & Corporate Profile

## 発行株式数及び株主数

- 発行可能株式総数 80,000,000株
- 発行済株式の総数 45,963,803株
- 株主数 3,826名

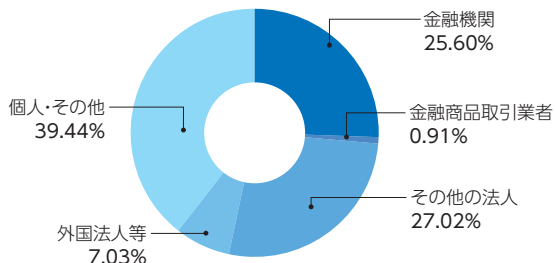
## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,947	4.36
東京大元持株会	1,916	4.29
有楽橋ビル株式会社	1,826	4.09
大阪大元持株会	1,722	3.86
HSBC BANK PLC-MARATHON VERTEX JAPAN FUND LIMITED	1,678	3.76
ダイダン従業員持株会	1,577	3.53
三信株式会社	1,118	2.50
名古屋大元持株会	1,098	2.46
株式会社みずほ銀行	959	2.15
株式会社三井住友銀行	954	2.13

(注) 1. 当社は、自己株式1,358,127株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は、自己株式1,358,127株を控除して計算しております。

## 所有者別分布



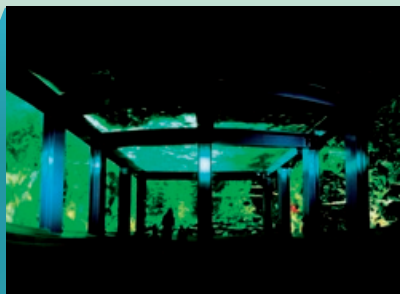
## 会社概要

社名	ダイダン株式会社
英文社名	DAI-DAN CO., LTD.
創業	明治36年3月4日
設立	昭和8年10月10日
所在地	<本店・大阪本社>大阪市西区江戸堀1丁目9番25号 <東京本社>東京都千代田区富士見2丁目15番10号
資本金	4,479,725,988円
事業内容	電気工事、空調工事、水道衛生工事の設計、監理、施工並びにこれらに関連する事業
従業員数	1,506名

## 役員一覧 (平成26年12月1日現在)

代表取締役会長兼最高経営責任者	菅 谷 節
代表取締役社長執行役員兼最高執行責任者	北 野 晶 平
取締役 専務執行役員	河 久 保 弘 和
取締役 専務執行役員	藤 澤 一 郎
取締役 専務執行役員	太 田 隆
取締役 常務執行役員	森 英 高
取締役 常務執行役員	櫻 井 文 士
取締役 執行役員	逢 坂 美 智 勝
取締役 執行役員	吉 田 一 也
取締役 執行役員	荻 野 憲 雄
取締役 執行役員	古 新 亮 英
常勤 監査役	櫻 木 修 一
常勤 監査役	安 東 憲 二 郎
監査役	土 川 章
監査役	北 村 八 朗
主席 執行役員	西 内 義 充
主席 執行役員	多 島 剛
上席 執行役員	近 藤 末 義
上席 執行役員	大 津 久
上席 執行役員	平 井 政 志
上席 執行役員	清 水 登
執行役員	大 平 哲 也
執行役員	山 根 明
執行役員	塩 谷 眞 富
執行役員	大 橋 重 男
執行役員	岩 崎 正 裕
執行役員	池 田 隆 之

ダイダンは、「光と空気と水を生かす」企業です。  
建物の電気設備、空調設備、給排水衛生設備をトータルに  
コントロールして、快適空間を創造します。



供給設備  
処理設備  
消火設備  
特殊衛生設備

空気

ビル空調設備  
産業空調設備  
自動制御設備  
特殊空調設備



ダイダ 株式会社

水

光



電力設備  
情報通信設備  
防災設備  
特殊電気設備

## ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR情報をはじめとして当社の各種情報を公開しておりますのでご覧ください。



<http://www.daidan.co.jp/>

## 「ダイダンレポート2014」を発行



当社の事業活動やCSR活動に加え、新たに財務・非財務データを盛り込んだ統合的な企業レポート「ダイダンレポート」は、下記のウェブサイトよりダウンロードが可能です。

ダイダンレポート2014

<http://www.daidan.co.jp/csr/report.html>

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
1単元の株式の数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告により行います。 当社ホームページに掲載いたします。 ( <a href="http://www.daidan.co.jp/finance/koukoku/index1.html">http://www.daidan.co.jp/finance/koukoku/index1.html</a> )
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部

UD  
FONT



**ダイダン株式会社**

〒550-8520  
大阪市西区江戸堀1丁目9番25号  
電話 (06) 6447-8000